

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 人づくりグループ 第7回会議		
日時	令和元年 12月16日(月) 19時30分～21時30分	場所	福野庁舎3階302会議室
出席者	人づくりグループ メンバー：2名、地方創生推進課：2名		
内容	・具体的な取組内容の検討		
概要	<p>◆浦井リーダー挨拶</p> <p>○宿題をしていて、まだまだ決めなければならないことがたくさんあることに改めて気付いた。このグループの全体像というか、枠組みをどうするかを考えることも必要かと。最初に枠組みを決めてから活動するのか、来年1年間活動した中で枠組みが見えるのかは分からないが、決め方を含めて枠組みをどのようにしていくのかについても、今後検討していきたい。</p> <p>◆資料2 宿題シートまとめの内容について確認、具体的な取組内容の検討 (○…浦井リーダー発言、●…メンバー発言、→…事務局発言)</p> <p>○前回の3グループ合同会議の折にも言っていたが、福野の事をより深く知ってもらうためには「ふくの学(仮称)」を作って、その中に様々なジャンルを入れることで、この活動への協力や参加、あるいは、この活動の必要性等が認識されやすいのではないかと。福野の事をより知ってもらうには、ジャンルに偏りなく、福野の事が立体的に分かる必要があるのではないかと。例えば、シニア向け、学校向けなどに活動する時に、この活動の方向性や何のための活動なのかを分かりやすく示せたら良いのではないだろうか。要は「ふくの学(仮称)」を「MANA-VIVA(仮称)」として広めていくということになるのかなと。</p> <p>また、歴史に詳しい方は高齢者に多いことから、「伝える」や「失われていくものを残す」、「伝承」というような方向性も必要ではないかと考えている。</p> <p>第1号は、この活動のイメージが伝えられやすいと思われるような方を、現存者の方の中から選びたいと思っている。</p> <p>●郷土の偉人から現存者につなげていった方が、活動のイメージがしやすく、理解が得られやすいのではないだろうか。「町立て」からスタートするのも分かりやすいかと。</p> <p>○そんな考え方もいいかもしれない。</p> <p>●郷土の偉人といっても詳しく知っている人は少ない。その方を詳しく知る現存者の方から話を伺う方法もあるのではないかと？</p> <p>○仰るとおり、例えば、吉田鉄郎氏なら、彼に尊敬の念を持って調べている人が身近におられるから、その人から話を伺えば良いということか！福野町を形作ってきた、阿曾三右衛門氏についても、福野町史の内容の他、観光協会の方に補足で伺った内容で、2月の住民との意見交換会に提示すればどうかと思う。</p> <p>●初めの数人は、リレー紹介でなくても、ジャンルを分けて紹介していけると良いのかもしれない。</p> <p>○ある程度進んだら、リレーにしたいと思う。</p> <p>ジャンルをある程度作ってから、紹介する人を選んでいくような流れになるだろうか。宿題にも触れられていたが、この活動のスケジュール感は気になるところ。次回は、年間スケジュール、活動の中長期計画を立てたいと思う。</p> <p>今日は、紹介する達人を何人が決めることと、具体的にどのように進めていくかを決めたい。</p> <p>それから、メンバー勧誘を年度内に行いたい、活動を紹介するチラシを作ったら良いと思う。スタッフ募集チラシもあると尚良い。名刺もあると動きやすい。</p> <p>●チラシは、市職員の研修や集まりの折にも配れたら良いと思う。</p> <p>○行政職員にも入って欲しいが、大学生が入ってくれるなどすれば尚良いかと。</p> <p>→上手く大学と連携出来る方法はないだろうか。</p> <p>○金沢大の人間社会学域の中に、ソフト事業関連のまちづくりの学科があり、その学生に参加してもらえるとありがたい。</p> <p>●卒業論文等で、まちづくり関係の内容に取り組むような学生が上手く見つかるが良いが。</p> <p>○富山大には、金沢大のような学部がない。地域連携室はあるけれど、学部とはつながっていない。どうしたら、大学生を呼び込めるだろうか？</p> <p>→インターンシップで呼び込む方法はどうか？先日、他地域の研修で訪問した金沢市東原地区で活動しているNPO法人くくのちでは、里山インターンシップという取組で20日間の実施をされている。合宿所みたいな場所があれば参加しやすいのではないだ</p>		

ろうか？

- 大学生の呼び込みは、来年度から本格的に考えることにしたい。
営業ツールとしての、名刺や各種チラシにロゴも必要か？内容を決めておいて、ロゴは追い追い決める具合で良いか？
- 異議なし。
- 次回は、活動を紹介するチラシに記載する、活動の方向性や目的を決めていきたい。また、来年度の年間スケジュールと、紹介する達人（匠）第1号の方の情報収集もしなければならない。やるべき事がたくさんある！
次回会議までに、私の方で、たたき台のサンプルホームページを作ってくる。
それから、インタビューではどんな事を聞けば良いのだろうか？まして、第1号は本人ではないから、インタビュー内容に工夫が必要なのではないか？
- インタビューの基本フォーマットがあると良いと思う。最低これだけは聞くべき、というもの。
- それは、どんなジャンルの方でも使用するということか？
- インタビュー内容に共通事項はあるだろうから、それを基本にして、後はジャンル別に追加するイメージ。
- 基本フォーマットの内容はこんな感じだろうか？
 - ①名前、②ジャンル（取組内容や功績等、詳しく）、③そのことに取組み始めて何年か、④そのことに取組んだきっかけ、⑤どんな思いで取組んでいるか、⑥これからどうしていきたいか（今後の展望）を含めて、子どもたちへのメッセージ
- その他に、その方の連絡先（住所、電話番号、メールアドレス等）も、今後の活動に必要だろう。
- インタビューに慣れている方ばかりではないだろうから、この基本フォーマットの質問紙を用意しておいて、インタビューを受ける側に予めお示ししておけば、インタビューも円滑に進むのではないだろうか。
- それでは、これらの質問紙も用意しておくことにしたい。
このインタビュー内容で本当に上手くいくのか確かめたいところ。
現存者の達人（匠）を誰にすれば良いかということについてだが、吉田鉄郎氏からのつながりで、福野家守舎にもインタビューをお願いしたいと考えている。その次は福野家守舎からのつながりで、プロバスケットボール選手の水戸健史選手にインタビューをお願いしてはどうか。個人的には、安居寺の住職さんと石武雄神社の宮司さんにもお話を伺いたいと考えていて、町部とは別の歴史が聞けるのではないかと思う。
- 因みに、石武雄神社と福野神明社は同じ宮司さんである。
- それなら、一度に話が伺えて好都合である。
- 福野の歴史と言えば、福野縞もあるが、福野縞についてはどうか？
- 福野縞なら、観光協会になるだろうか？以前、地元の地区活動で福野縞の関係者をお呼びした時には、福野中部まちづくり協議会から来ていただいた。定期的に、商工会の市の里ギャラリーで福野縞の活動をされていると伺っているので、福野縞については、福野中部まちづくり協議会にお話を伺えばいいのではないだろうか。
- 異議なし。
- 現存者向けの質問は、内容をもう少し考えてみたい。

◆次回会議

日時…令和2年1月14日（火）午後7時30分から

場所…福野庁舎3階 302会議室

内容…①チラシに記載する、活動の方向性や目的の検討

②来年度の年間スケジュールの検討

③紹介する達人（匠）第1号の方について歴史資料を用いての情報収集

◆次々回会議

日時…令和2年1月31日（金）午後7時30分から

場所…福野庁舎3階 302会議室

内容…具体的な取組内容の検討

福野地域提言検討組織 人づくりグループ **第7回** 会議

◆ 紹介する人第一号を誰にするか？

- ・「ふくの学(仮称)」があると、
多方面で知ってもらいやすいのでは？



- ・イメージややりたいことが伝えら
れる人 ← 生存者で

(Ex) 建築家 吉田 鉄郎

阿曾 三右衛門 (生存者からの紹介)

- ・ジャンルを決めよう!
- ・スケジュールは次回に!
- ・若い人、女性の参加!

◆ 今年度中にやるべきこと ◆

- ・チラシ
 - ・名刺
-) 営業ツール

方向性、やるべきこと
を載せる

▶ インタビュー基本フォーマット

名前、ジャンル、取組み始めて何年、
何をやっているのか、功績、きっかけ、想い、
今後の展望、子どもたちへのメッセージ

◆ 次回会議 ◆

R2年、1/14(火) 19:30 -
31(金)

いざねも

12/16(火) 19:00⑦



▶ 紹介する達人(匠)

- ① 阿曾 三右衛門氏 (福野町史より)
- ② 吉田 鉄郎氏 (福野家守舎メンバーにインタビュー)
- ③ 福野家守舎
- ④ 水戸 健史氏 (プロバスケットボール選手)
- ⑤ 福野神明社と
石武雄神社の宮司さん
- ⑥ 安居寺の住職さん
- ⑦ 福野縞 (福野中部まちづくり協議会の皆さんにインタビュー)

-
- ① チラシに載せる、活動の方向性や
目的の決定
 - ② 来年度の年間スケジュールの決定
 - ③ 紹介する達人1号の情報収集

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 人づくりグループ 第6回会議		
日時	令和元年11月20日(水) 18時45分～21時30分	場所	福野庁舎1階102会議室
出席者	人づくりグループメンバー:3名、地方創生推進課:2名		
内容	・具体的な取組内容の検討		
概要	<p>◆浦井リーダー挨拶</p> <p>○前回の会議では、コンソーシアムの創設に向けて、この活動の理念を明文化する検討の途中で時間切れとなってしまったが、理念に通じる発言があったので、それを基に明文化案を作成してくるという宿題をお願いしていた。今日は、その内容を確認し、理念の明文化を行いたい。</p> <p>◆資料2「コンソーシアムの創設に向けた理念の明文化」の内容について確認</p> <p>◆具体的な取組内容の検討 (○…浦井リーダー発言、●…メンバー発言、→…事務局発言)</p> <p>○なるべく簡潔な表現にまとめるため、使いたいワードや心に響いた言葉をピックアップすれば良いかと。</p> <p>また、この活動の名称をまだ決めていなかったが、資料2-③のイメージが良いのではないだろうか。そして、この基本方針の下に、補足的な文章を加えてもいいかもしれない。但し、名前にある「コンソーシアム」という言葉は、あまり対外的な言葉ではないと思うがどうか。</p> <p>●コンソーシアムという組織体のイメージはあっても、名称まではこだわりがなかった。</p> <p>○この活動を福野からスタートして、いずれは、市全体の取組になっていくと思っている。</p> <p>●初めから市全体を対象とした範囲を想定しても良いのでは？</p> <p>→初めは旧町地域の小さな単位でスタートした方が手本となり、他地域でも取組みやすい。いずれは市全体にこの取組が広まっていけば良いと思っている。</p> <p>○いずれ市全体で取組みたいと思っているので、名称を福野にこだわるつもりはない。</p> <p>●この名称では、見て、ワクワクしないと思う。</p> <p>→資料2-②の1番先の文が、根っこという点で、前回会議の木の絵とマッチしているように思う。</p> <p>●高校生以下の子どもが見ても分かりやすい方が良い。</p> <p>○単語と文章との組み合わせが、使い勝手が良いと思う。</p> <p>●単語は、人うけするような言葉が良いだろう。</p> <p>○「根っこ」は「Roots」。「心の根っこ」は、英語で何と言うのだろうか？</p> <p>●「Roots」だけでも、「心の根っこ」という意味があるようだ。</p> <p>●どんなものにも「根っこ」はある。例えば、人、生活、土徳等。</p> <p>●人材バンクなど、「人を紹介する」という意味で「Bank」はどうか。還元するという意味も込めて。</p> <p>→簡単に決まりそうになれば、仮に決めておいて、いい名称が出てきたら変更すればどうだろうか。</p> <p>●スタート時の名称は「福野」でも良いのかも。</p> <p>○名称は後からでも決められるのでこの辺にして、理念と基本方針を決めていきたい。資料2-②の<つけたし>にあるサケの話は、この活動の発端とも言えるので是非取入れたい。また、1つのつながりとして、資料2-③の「掘り起こし」「耕し」「種をまく」もどこかで使いたい。</p> <p>●コンソーシアムという言葉には、つなげることという印象を持っている。人材をつなげて、学びの場を提供するような。「学びの場の提供」のウエイトが大きいので、これを活動の柱にすべきだと考える。それが地域の元気である。また、受動的なイメージのある「活性」というよりは「能動的な取組」によるものというイメージ。「能動的な」はキーワード。「応援したい」というのも能動的な表現だと思う。</p> <p>○「学びの場」は理念になるか？</p> <p>●学びの場の「場」が大事なので、「学びの場」を名称に入れても良いくらいではないだろうか？</p> <p>●「学び場」を名称にしてはどうか？</p> <p>●(全員)異議なし。</p> <p>○理念に、資料2-②の上から1番目の話を入れてはどうか？</p> <p>●子どもに限らず、大人も根っこは大事。そして、『「心の根っこ(Roots)」にたっぷりの愛を注ぎ』という表現は、掴みが良いと思う。</p>		

- 資料2-③の理念とつなげてはどうだろう？
『私たちは地域の宝をつなぎ、共に学び合いの輪を拓くことで、「心の根っこ (Roots)」にたっぷりの愛を注ぎ、能動的な生きている地域を創造します。』
- これがメンバー全員の思いになるのでは？
 - メンバー全員の言いたいことが表現されていると思う。これで理念が出来上がった。
 - 「人材資源の発掘」と「ネットワークの構築」は、手法は違うけれど、言っていることは似ているのでは？
 - 人材同士もつながって欲しいと思っているが、地域のために動く人たちの輪も広げたい。基本方針のような部分に、「学びの場の提供」「人的ネットワークづくり」「人資源の発掘」を入れたいと思っているがどうか。
- 「人材育成」は入れなくても良いか？
- 「人資源の発掘」は「人材育成」と同一ではない。
 - 「学びの場の提供」が「人材育成」になるだろうか？
- 基本方針には、取組みたい事を個々に分けて載せた方が良いのではないか？
- 「人材育成」は、地域の会合に率先して参加するような人を育てる、ということになるだろうか。
- それと、資料2-②の<つけたし> (サケのコラム) はどの部分に入れればよいだろうか？
- 理念のすぐ下だろうか。はっきりとした理由は解明されていないとされているが、土地自体の匂いもあると聞き、「学び場」で学んだ匂いを覚えていて帰ってくるイメージ。理念の最終着地点はこのような感じかと。
 - 但し、「人材育成」という言葉が固い。
- 「人材育成」を「人づくり」に替えればどうか？
- 基本方針は、「学びの場の提供」「人的ネットワークづくり」「人資源の発掘」「人づくり」の4点でどうか？
 - 異議なし。
- 前回会議の冒頭で確認のあった、市からの費用面のサポートについては、スタートアップの段階で、どのような運用の仕組みを作るかという部分に対してサポートすべきと考えている。
- 寄付は、スポンサーというよりも、応援しているという意味で必要と考えているが、自分たちで、この活動のPRも兼ねて、イベント等に出店して資金を稼ぐことも検討している。前回の会議で、事務局の体制や方向性が大きく変わってきた。当初は人件費等で事務局経費が必要になってくると思っていたが、インターネット中心に進めることにしたので、思っていた程の経費はかからないのではないかと考えている。
 - 例えば、学びの場の体験ツアーに必要なバス代の支援などは考えられるか？
 - そうすると、仮にその支援により受講料が1,000円だったものが、支援がなくなったことにより受講料がハネ上がることにもなり兼ねない。受講料が変動することは、この活動への信用を無くすことにもなると考える。そのような方法ではない支援が良いのではないかと思う。
- その都度使い切るのではなく、次の活動の資金として残しておけるような方法が取ればいいのだが。
- いずれ会則なども作った上で、このコンソーシアムの通帳を作れば、全体としては動かせるようになる。
 - ホームページは、無料サイトのパッケージなどを使えば簡単に開設出来る。仮に、有料ドメインを取ったところで、その経費も年間数千円程度だから、市の支援を利用するよりも、寄付を当てた方が適当だろう。
- 12月2日の合同会議では、どうやって運営していくのか？と、資金面の質問はありと予想されるが。
- 運営資金の基本的な内訳は、自分たちで資金を稼ぐことと寄付とを考えている。寄付がどのくらい集められるかは分からないが、この活動が根付けば、寄付は容易に集められるようになるだろう。最初から10年計画と言っているが、資金を稼ぐ仕組みをどうするか？市の支援を利用するとしたら、チラシとか、名刺とかになるか？目に見えて分かるものがあれば、人を募りやすい。機関紙のサンプルを作るのも一考か？
- 当初のPR動画の費用であれば市のサポートとして可能であろう。
- チラシや動画を作ることは検討しても良いだろう。なくても良いが、あればありがたい、という程度ではあるが、機関紙のサンプル作りは年度内に行いたい。学び場の試行も年度内にやってみるか？
- 学び場については、試行するにしても、しっかりと検討を重ねてからの方が良いと思う。

- 学び場については、年度内の試行にこだわらずに検討していくこととし、機関紙のサンプル作りについては年度内に行いたい。
それと、ホームページの構成は、写真ベースにするか？それとも動画ベースにするか？
→最初は、写真ベースで話していたかと。
- 写真ベースなら文字が中心になるが、これなら私たちのような素人でも対応出来そう。
そして、このグループのメンバーをどうやって増やすかも考えないとダメだろう。
→人が集まる機会、例えば、何かの会合のときに出向いて説明するとか。
- PTA ロスという言葉もあるくらいだから、PTA の役が終わった人に声掛けするのも一考か？
- PTA の人がまちづくりに興味があるかと言えば、そうでもない。役の長い人に限って、子どものために、という思いが強いようにも感じる。
次回会議に向けて、機関紙のサンプルを作るにあたり、紹介する人材の第1号や、続いて紹介する候補を挙げることに、それと、このグループのメンバーを増やす方法を挙げることを宿題としたい。
また、12月2日の合同会議での報告は、スライド投影と配布資料で説明することとする。
- 承知した。

◆次回会議

日時…令和元年12月2日（月）午後7時から

場所…福野庁舎1階 102会議室

内容…（福野地域3グループ合同会議）これまでの検討の進捗を他のメンバーに報告

◆次々回会議

日時…令和元年12月16日（月）午後7時30分から

場所…福野庁舎1階 102会議室

内容…具体的な取組内容の検討

宿題…①機関紙のサンプルを作るにあたり、紹介する人材の第1号や、続いて紹介する候補を挙げる。

②このグループのメンバーを増やす方法を挙げる。

氏名 浦井啓子

1. 機関紙のサンプルを作成するにあたり、紹介する福野地域の達人(匠)の第1号を誰にするのか、候補者を挙げる。

《ふくの学》ジャンルから検討

- ・歴史（まちだて、地理）
- ・文化（夜高祭、獅子舞）（民謡、芸術）
- ・伝統（福野縞）
- ・観光（寺社仏閣・施設・巖浄閣）
- ・宗教（寺社仏閣の歴史、由来）
- ・スポーツ
- ・産業（職人、＜工業、商業＞、農業）
- ・言語（方言）
- ・地理（地学）

一人目は、①キャッチーな人がいいと思う

「ふくの学」をイメージしやすく、観光の資料っぽくないジャンルから

- 宗教の分野：安居寺、福野神明社など
- ことば：面白い言葉
- 地理：地名、地層、歴史的遺産、遺跡などあったらおもしろいけど
- 歴史：昔の地理（地図）、道路、川、学校の場所とか

2. 人づくりグループのメンバーをどうやって増やす方法を挙げる。

◎ ボランティアスタッフ

▷ 担ってもらう内容

- ・達人へのアポ取り
- ・取材（メモ・録音）
- ・記事を書く（ブログの更新）

▷ 誰に

- ・シニア
- ・高校生（福野高校の新聞部にアタック）
- ・まちづくりに興味のある人

◎ 事務局

- ・全体の企画兼プロデュース
- ・企画会議の運営
- ・広報
- ・資金計画
- ・ボランティアスタッフさんの調整
- ・セミナー企画
- ・セミナーコーディネート

3. その他の協議必要事項

◎ タイムスケジュール

年度内（できれば）

- ① サンプル HP 作成（達人へインタビュー、記載）
- ② 名刺作成（営業用）
- ③ 「MANA-VIVA（学び場）」広報ツール・スタッフ募集
- ④ 組織形態の検討、組織図的なもの、スタッフミーティング
- ⑤ 年間計画のたたき台の作成

次年度（本格的スタート）にむけて

- ① インタビュー掲載（毎月〇名などノルマを決める）
- ② イベント出店等の計画
- ③ 定例スタッフミーティング（企画会議）

氏名 苗加 隆史

1. 機関紙のサンプルを作成するにあたり、紹介する福野地域の達人(匠)の第1号を誰にするのか、候補者を挙げる。

▷以前の宿題のジャンルから、

- 文化・芸術(福野独自・特徴的なもの)
 - ・夜高の武者絵の作家さん
 - ・三二行灯の作家さん
 - ・福野の有名な芸術家さん
(時女信子さん、岡田繁憲さん、陶芸家の方、今年の県展受賞者の方 etc)
- 祭り(行燈(町、田祭り))
 - ・夜高の人と言えば、な方。ベテランな方？若い人？
(故人ですが、晩田誠一さんも？)
- 観光ボランティアガイド
 - ・往蔵久雄さん
 - ・中川五月さん
 - ・佐々木さん(日の出板金さん)
- 商工会(青年部、女性部)、JC
 - ・部長、理事長経験者
- 工業(工場見学(コマツ NTC とか川田工業とか))
 - ・社長さん
- 農業(サトイモ、米、花、玉ねぎ)
 - ・里芋組合、サカタ二農産、橋爪さん親子
- その他
 - ・溝口 進さん
 - ・田中幹夫さん
 - ・家守舎メンバー
 - ・大家さん親子(ナチュラリスト&プロレスラー)
 - ・水戸さん(バスケ)
 - ・阿曾三右衛門(故人・町立て)
 - ・吉田鉄郎(故人・建築家)

2. 人づくりグループのメンバーをどうやって増やす方法を挙げる。

新規採用職員を勧誘。

イベントでの告知、募集チラシ

大学生に参加してもらえないかな？(研究、フィールドワーク、ボランティア経験)

特に若い人に入って欲しい、そして、友達も連れて参加してもらうには？

低い垣根と、フラットな組織。

氏名 林 紀孝

1. 機関紙のサンプルを作成するにあたり、紹介する福野地域の達人(匠)の第1号を誰にするのか、候補者を挙げる。

○福野の伝統や特産の匠

- ・夜高祭 →柴田君に聞いて誰がふさわしいかきいてみる
- ・里芋つくり →これも焼野の方に聞いてみる(組合ありましたよね?)
- ・菊作り →これは橋爪君にきけばわからないかなあ

○その他

- ・安居寺や岩武雄神社の住職
- ・円城のみっちゃん もしくは 花島精肉店の会長
(この辺りが、福野が賑わっていたころをよく知っている)
- ・鳶のみっちゃん

具体的に一番幅広いの花島さんかなと思います

2. 人づくりグループのメンバーをどうやって増やす方法を挙げる。

最初は今の 3 人プラス 2~3 人でコツコツ作りながら、活動を継続することが大切だと思います。何をやるのか具体的な成果が見えないとボランティアスタッフを集めるのは難しいかなと思います。

声掛け

- ・各まちづくり協議会で広報部会なかったかな? 確かあった気がします。その方に声掛けてみればどうか
- ・福野出身の退職された国語の先生(他教科でもよい)
- ・商工会青年部で 1~2 名派遣してもらう
- ・外国人からみた福野も知りたいので福野在住の外国人の方(ニコラしか思い浮かばない)
- ・文化的なことなのでヘリオスにも協力して欲しいな

3. その他の協議必要事項

■スケジュール&ビジョン

来年の 1 年間ビジョン(スケジュール)
3 年間ビジョン、5 年間ビジョン、10 年間ビジョンをついたらどうだろう?
夢の広がる内容ワクワクする内容で

■FB ページ or HP

発信拡散ツールとして SNS や HP を作成(更新できるかどうかがかギですが)

■広報紙だけではなく、福野の匠や学びの場の情報を集め、ベースを作成する
フォーマット、内容、カテゴリ、福野で行われている学びの場の集約など

■広報誌作成にあたって、専門家にアドバイスをもらっては? 情報誌などの方に

■予算計画をたてる

何いくらかかりそうなのか? 一回やりたいことをすべて盛り込んだもので立ててみる